

# エコアクション21 環境活動レポート

(期間 2017年 10月～2018年 9月)



作成日：2018年12月1日

株式会社 丸 陽

# **1. 環境活動レポート**

**・組織の概要**

**・推進組織図並びに役割**

**・環境方針**

**・環境目標**

**・環境活動計画**

**・環境目標の実績**

**・環境活動の取組結果とその評価、今後の取組内容**

**・環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違**

**反訴訟の有無**

**・代表者による全体評価と見直しの結果**

## ●組織の概要（対象範囲）

### <事業概要>

(1) 名称及び代表者名

株式会社 丸 陽  
代表取締役社長 小林 直文

(2) 所在地

本 社 長野県上田市中央 2 - 5 - 1 0  
長野支店 長野県長野市青木島町綱島 4 9 0 - 5  
物流倉庫 同上

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者	営業本部長	西藤 洋一	TEL 0268-22-2400
	総務部室長	水出 稔	TEL 0268-22-2400
	総務部	小林 慶三	TEL 0268-22-2400
担当者	本社営業部	塚田 政尚	TEL 0268-22-2400
	長野支店	原田 湧基	TEL 026-283-1108

(4) 事業内容

事業内容 文具・事務機器類の販売業

(5) 事業年度

10月 ～ 9月

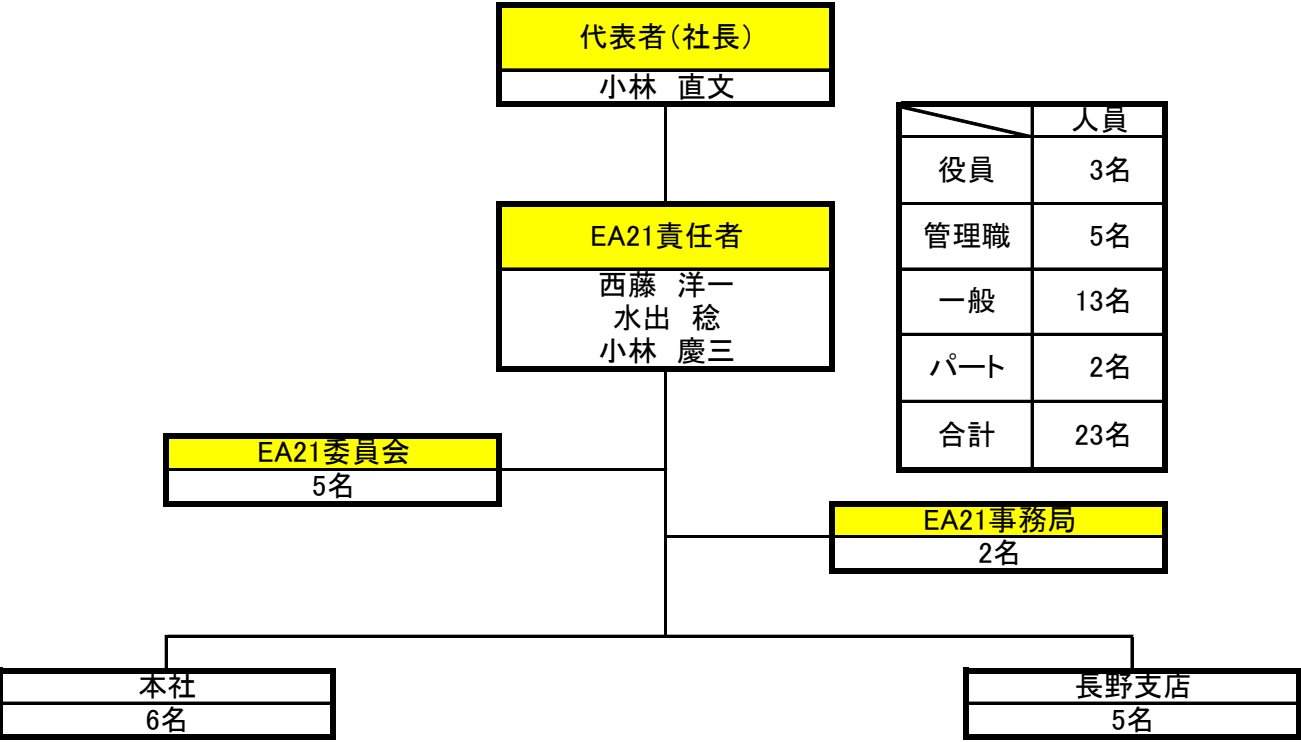
### <対象範囲>

登録組織名： 株式会社 丸陽  
関連事業所： 長野支店  
事業内容： 文具・事務機器類の販売業

●推進組織図並びに役割

エコアクション21推進組織図

【適用範囲】



職名	役割
代表取締役	環境管理責任者を任命する。 環境経営システムの構築・運用・維持に必要な経営資源(人材・資金・機器設備・技術技能を含む)を準備する。 環境方針を制定する。 環境経営システムの構築実施に関する情報を収集し、システム全体の見直しを行い必要に応じて改定を指示する。 環境目標・環境活動計画及び環境活動レポートを承認する。
環境管理責任者	EA21の要求事項に適合したシステムを構築・実施し、そして維持されることを確実にすること。 利害関係者からの苦情、要望等の処理と連絡。 環境への負荷及び取組への自己チェックの実施。 環境目標及び環境活動の策定。環境活動レポートの作成。
EA21事務局	事務局として、環境管理責任者を補佐し、環境経営システムに関する業務全般を補完する。 環境関連法規の取りまとめ及び遵守状況を確認する。 教育訓練計画の策定と実施をする。 環境文書及び記録の作成と管理をする。
各部門責任者	自己の管理範囲における実施責任者として、全員参加による環境経営システムの実施及び責任を負い、部門内の必要な人材育成、パフォーマンスの向上を図る。 環境目標及び、実施項目に対する問題点の是正処置を実施する。

# 環境方針

## ◆ 基本理念

すべての個人、組織が地球規模で考え行動すべき時代が到来しました。このような時代背景の中で当社は、主たる事業である文具事務機器販売、省エネ環境商品販売を通じて多くのお客様へ環境負荷低減をご提案してまいります。

企業収益と環境負荷低減を同軸にとらえる「環境経営」の推進で日々新たに移り変わる社会とともに前進します。そのためにも環境マインド・スキルの高い社員を育成し全社一丸となり、次世代に豊かで美しいまたとなき地球・社会・企業を残せるよう取り組みます。

## ◆ 当社の行動指針

1. 事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、次の項目を重点課題として取り組みます。
  - (1) 地球温暖化の防止（省エネルギーの推進）
    - ・電気、ガソリン消費の効率化による削減
  - (2) 資源の節約と再利用（省資源の推進）
    - ・紙等資源の使用量削減及びグリーン購入活動の推進
    - ・総排水量の削減、水資源の削減
  - (3) 廃棄物発生の抑制（環境負荷物質の排出量の削減）
    - ・廃棄物の削減及びリサイクル活動の推進
  - (4) 当社の販売事業活動を通じて、顧客との協調による環境保全活動をします。
    - ・リサイクル商品・グリーン商品等の提案と販売
  - (5) 自社の環境負荷の数値化、見える化をしてP D C Aのサイクルを回し社員教育推進
  - (6) 法規制等要求事項の遵守

制定日 2012年1月28日

株式会社 丸陽 代表取締役社長

**小林 直文**

●環境目標

承認	作成
	
環境管理責任者	環境事務局

No.	取組み項目	区分	担当部署	環境目標						
				基準値と単位	2018年度		2019年度		2020年度	
1	省エネルギー推進による二酸化炭素排出量削減(電気使用量の削減)	本社	総務 営業業務	総電気使用量(電気の使用削減)	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 45,004.9 KWh CO2排出量 21,287.3 kg	900.1 KWh CO2 425.7 kg	1,350.1 KWh CO2 638.6 kg	1,800.2 KWh CO2 851.5 kg			
		長野支店	営業 業務	総電気使用量(電気の使用削減)	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 16,127.1 KWh CO2排出量 7,628.1 kg	322.5 KWh CO2 152.6 kg	483.8 KWh CO2 228.8 kg	645.1 KWh CO2 305.1 kg			
2	省エネルギー推進による二酸化炭素排出量削減(ガソリン・軽油の削減)	本社	営業	車燃料(ガソリン・軽油の使用削減)	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 7,629.9 L CO2排出量 17,714.0 kg	152.6 L CO2 354.3 kg	228.9 L CO2 531.4 kg	305.2 L CO2 708.6 kg			
		長野支店	営業	車燃料(ガソリン・軽油の使用削減)	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 10,259.0 L CO2排出量 23,818.0 kg	205.2 L CO2 476.4 kg	307.8 L CO2 714.5 kg	410.4 L CO2 952.7 kg			
3	分別・リサイクル推進による廃棄物排出量削減	本社	総務 営業業務	廃棄物実績	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 826.16 kg	16.5 kg	24.8 kg	33.0 kg			
		長野支店	営業 業務	廃棄物実績	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2017年度実績 333.90 kg	6.7 kg	10.0 kg	13.4 kg			
4	水資源使用量の削減	本社	総務 営業業務	年間水資源実績	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 214.8 m <sup>3</sup>	4.3 m <sup>3</sup>	6.4 m <sup>3</sup>	8.6 m <sup>3</sup>			
		長野支店	営業 業務	年間水資源実績	3%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度実績 121.0 m <sup>3</sup>	3.6 m <sup>3</sup>	3.6 m <sup>3</sup>	4.8 m <sup>3</sup>			
5	コピー用紙使用量の削減	本社	総務 営業業務	使用枚数実績	2%	削減	3%	削減	4%	削減
				2016年度基準値より1%減 76,490 カウント	1,530 カウント	2,295 カウント	3,060 カウント			
		長野支店	営業 業務	使用枚数実績	3%	削減	3%	削減	4%	削減
				2017年度実績+1,200 93,345 カウント	2,800 カウント	2,800 カウント	3,734 カウント			
6	リサイクル・エコ商品の販売	本社	営業	販売目標						
				2019年度営業目標 18,400 千円	17,700 千円	18,400 千円	※ 千円			
		長野支店	営業	販売目標						
				2019年度営業目標 19,500 千円	20,000 千円	19,500 千円	※ 千円			
7	従業員への環境保全啓蒙	全社		従業員への教育訓練 年間4回以上実施	従業員への教育訓練 年間 4回以上実施	従業員への教育訓練 年間 4回以上実施				

※2019年度終了時に、2020年度の目標値を設定します。

●環境活動計画

No.	取組み項目	活 動 計 画
1	省エネルギー推進による 二酸化炭素排出量削減 (電気の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① エアコンの温度設定は 30℃を超えた場合、冷房28℃ / 20℃を下回った場合暖房22℃とする。</li> <li>② 17時 30分以降のエアコン使用を控える。</li> <li>③ クールビズ・ウォームビズの実施</li> <li>④ 未使用時の電気消灯(昼休みの消灯)</li> <li>⑤ パソコン等 電力不要時の負荷遮断</li> <li>⑥ 局所照明等による有効照明の利用。</li> </ul>
2	省エネルギー推進による 二酸化炭素排出量削減 (ガソリン・軽油の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① アイドリングストップの徹底</li> <li>② 車内に不要な荷物を乗せない。</li> <li>③ エコドライブの実践(急発進・急ブレーキの抑制・法定速度遵守等)</li> <li>④ 冷暖房を控えめに使用する。</li> <li>⑤ 走行メーター・給油使用量の毎月報告による意識向上</li> </ul>
3	分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量(kg)削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 分別回収ボックスの適正配置</li> <li>② リデュース・リユース・リサイクル化の実施</li> <li>③ 資源ゴミとの分別強化により再資源化をはかる。</li> <li>④ ミスプリントを防ぎ、シュレッダーの使用削減をはかる。</li> </ul>
4	水資源使用量の削減 (水道量の削減)	<ul style="list-style-type: none"> <li>① トイレ使用時の節水</li> <li>② 蛇口締め忘れのないよう徹底する。</li> </ul>
5	コピー用紙使用量(枚数)削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>① コピー機使用を極力減らす工夫をする。</li> <li>② 場合により集約や両面コピー等の活用</li> <li>③ コピー機の各種機能を活用しミスコピーを削減する。</li> <li>④ 電子メディアの利用により、ペーパーレス化をはかる。</li> <li>⑤ 毎月の集計方法を枚数ではなくカウントで行い、厳密な数値にて意識付けをはかる。</li> </ul>
6	グリーン購入の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>①社内にて使用する商品は、グリーン購入品を購入する。</li> </ul>
7	リサイクル・エコ商品の販売	<ul style="list-style-type: none"> <li>① LED・蓄電池・ハイブリッドファン・遮光熱フィルム・修繕・リサイクルPPC等の積極的提案営業を展開</li> <li>② 社内システム上も、ECOデータ管理を高度化する。</li> <li>③ エコ商品の新アイテムを増やす。</li> </ul>
8	従業員への環境保全啓蒙	<ul style="list-style-type: none"> <li>① ecoセミナー実施</li> <li>② 毎月の実績発表時、C・Aを部署ごとに考える意識付けを。</li> <li>③ 各所にポスター、シール等を貼り、意識高揚を図る。</li> </ul>

## ●環境目標の実績

### 1. 事業の規模【全社】

○ エネルギー使用量等の環境負荷の総量のデータを原単位で把握するために用います。

		対 象 期 間
指標	単位	(2017年10月～2018年9月)
資本金	千円	32,000
売上高	千円	1,000,000
スチール家具売上高	千円	350,000
従業員数	人	23
床面積	m2	1,060
( )		
( )		
( )		
( )		
( )		



## 2. 環境への負荷の状況（取りまとめ表）

○ 本取りまとめ表は、「3.エネルギー使用量」「4.一般廃棄物排出量」「5.産業廃棄物排出量」「6.水使用量」「7.化学物質使用量」を一表に取りまとめたもの。各表の黄色のセルの合計値が自動で入力されるよう設定しています。

（黄色のセルは自動で入力されます）

○ 「環境負荷の要因となる主な活動・設備等」については、できる限り具体的に書いてください。

○ 太枠内に前年度や基準年度等のデータを入力することにより、取組の効果等を評価することができます。

		2017年10月～2018年9月								
		量	料金 (円)	CO2排出量 (kg-CO2)	割合	目標値	達成率	評価		
エネルギー 使用量	電力1 中部電力	36,258.00	kWh	1,317,339	17,150.03	23.7%	59,909.40	kWh	104.8%	○
	電力2 エフビットコミュニケーションズ	20,775.70	kWh	676,251	11,925.25	16.5%				
	電力3		kWh							
	電力4		kWh							
	電力5		kWh							
	ガソリン	18,648.80	L	3,165,730	43,296.17	59.7%	17,531.10	L	93.6%	×
	軽油		L							
	灯油		L							
	A重油		L							
	都市ガス	13.00	Nm3	27,805	110.04	0.2%				
	液化石油ガス (LPG)		kg							
	液化天然ガス (LNG)		kg							
	合計 (エネルギー)			5,187,125	72,481.50	100.0%				
一般廃棄物総排出量		828.50	kg			1136.80	kg	127.1%	◎	
産業廃棄物総排出量		15,475.00	kg							
	中間処理量		kg							
	うち再資源化量		kg							
	最終処分 (埋立) 量		kg							
産業廃棄物 (特別管理) 総排出量			kg							
	中間処理量		kg							
	うち再資源化量		kg							
	最終処分 (埋立) 量		kg							
水使用量	上水	211.00	m3	107,038		327.90	m3	135.7%	◎	
	工業用水		m3							
	地下水		m3							
下水使用量		211.00	m3	46,623						
化学物質 使用量										
コピー用紙使用量		60,330.00	kg			66,202.00	kg	108.9%	◎	
工コ商品販売		42,352.00	千円			37,700.00	千円	87.7%	×	



(2) 化石燃料

- ①～②に該当しない項目で大量に使用しているエネルギーがある場合には、③以降の表に入力してください。
- 排出係数は「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル」（環境省／経済産業省）を参照し、入力してください。

①ガソリン

単位発熱量  MJ/L 排出係数 :  kg-C/MJ

項目	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計	月平均
使用量	L	1,581.60	1,658.20	1,599.50	1,297.10	1,443.60	1,908.20	1,272.40	1,543.20	1,493.20	1,745.60	1,757.70	1,348.50	18,648.80	1,554.07
料金	円	225,276	236,176	290,122	257,178	278,140	244,601	265,312	288,014	248,730	267,800	269,205	295,176	3,165,730	263,811
CO2排出量	kg-CO2	3,671.94	3,849.78	3,713.50	3,011.43	3,351.55	4,430.19	2,954.08	3,582.79	3,466.70	4,052.69	4,080.78	3,130.76	43,296.17	3,608.01

②軽油

単位発熱量  MJ/L 排出係数 :  kg-C/MJ

項目	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

③灯油

単位発熱量  MJ/L 排出係数 :  kg-C/MJ

項目	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

④A重油

単位発熱量  MJ/L 排出係数 :  kg-C/MJ

項目	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計	月平均
使用量	L														
料金	円														
CO2排出量	kg-CO2														

⑤都市ガス

単位発熱量  MJ/Nm3 排出係数 :  kg-C/MJ

項目	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計	月平均
使用量	Nm3	0.40	0.90	1.40	1.20	1.80	1.70	1.80	1.60	1.20	0.20	0.30	0.50	13.00	1.08
料金	円	1,911	2,208	2,505	2,386	2,743	2,683	2,743	2,624	2,386	1,792	1,852	1,972	27,805	2,317
CO2排出量	kg-CO2	3.39	7.62	11.85	10.16	15.24	14.39	15.24	13.54	10.16	1.69	2.54	4.23	110.04	9.17







## 6. 水使用量及び総排水量

### (1) 水使用量

- 製品の生産において原材料等として投入される水は、「8.資源使用量」で把握してください。
- サイト内で循環的に利用している水は、使用量に含めないでください。

種類	内訳	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計
上水	使用量	m3	21.00	14.00	22.00	9.00	29.00	12.00	25.00	12.00	21.00	11.00	23.00	12.00	211.00
	料金	円	12,938	5,127	12,404	5,590	12,582	5,590	12,226	5,590	12,226	5,127	12,048	5,590	107,038
工業用水	使用量	m3													
	料金	円													
地下水	使用量	m3													
	料金	円													
	使用量	m3													
	料金	円													
	使用量	m3													
	料金	円													
合計	使用量	m3	21.00	14.00	22.00	9.00	29.00	12.00	25.00	12.00	21.00	11.00	23.00	12.00	211.00
	料金	円	12,938	5,127	12,404	5,590	12,582	5,590	12,226	5,590	12,226	5,127	12,048	5,590	107,038

### (2) 総排水量

種類	内訳	単位	2017年10月	2017年11月	2017年12月	2018年1月	2018年2月	2018年3月	2018年4月	2018年5月	2018年6月	2018年7月	2018年8月	2018年9月	合計
公共用水域	河川	排水量	m3												
		料金	円												
	湖沼	排水量	m3												
		料金	円												
	海域	排水量	m3												
		料金	円												
		排水量	m3												
		料金	円												
下水道	排水量	m3	21.00	14.00	22.00	9.00	29.00	12.00	25.00	12.00	21.00	11.00	23.00	12.00	211.00
	料金	円	3,806	3,759	3,593	3,926	3,664	5,098	3,522	4,429	3,522	3,759	3,451	4,094	46,623
合計	総排水量	m3	21.00	14.00	22.00	9.00	29.00	12.00	25.00	12.00	21.00	11.00	23.00	12.00	211.00
	料金	円	3,806	3,759	3,593	3,926	3,664	5,098	3,522	4,429	3,522	3,759	3,451	4,094	46,623





## 8. 資源使用量

- 資源使用量は、右の四角囲いの例を参考に、主要な物質を把握してください。
- 製品の製造において原材料等として使用される水や石油等は、資源使用量として把握してください。
- 資源使用量を把握するのが困難な場合には、総製品生産量または総商品販売量に廃棄物排出量を足し合わせて算出することもできます。

対象期間（2017年10月～2018年9月）			
資源の種類	単位	使用量	備考（保管量等）
コピー用紙	kg	60,330.00	

- 資源の種類
  - ・金属（鉄、アルミ、銅、鉛等）
  - ・プラスチック（種類ごと）
  - ・ゴム
  - ・セメント
  - ・ガラス
  - ・木材
  - ・紙（用紙も含む）
  - ・農産物
  - ・水 等
- 使用時の状態
  - ・部品、半製品、製品、商品
  - ・原材料、補助材料、容器包装材 等

## 9. 総製品生産量または販売量

○ 製品等の生産量または販売量を把握してください。

対象期間（ 年 月 ～ 年 月）					
		製品名等	単位	生産・販売量	
製 品 ・ 商 品	重 量		t		
			t		
			t		
			t		
			t		
			重量合計	t	
	重 量 以 外		リサイクル・エコ商品の積極的販売	千円	42,352

## ●環境活動の取組結果とその評価、今後の取組内容

当社としては、事業活動における環境への負荷を低減する為に、以下の通り活動を実施しております。

その達成状況を毎月のEA21委員会にてフォローしております。

パソコン内データ表示以外にも、掲示版へも紙ベースで表示、誰もが数値に意識するようにしております。

No.	取組み項目	活動計画	実況状況 評価	発生した課題に対する今後の取組
1	省エネルギー推進による 二酸化炭素排出量削減 (電気の削減)	① エアコンの温度設定は 30℃を超えた場合、冷房28℃ / 20℃を下回った場合暖房22℃とする。 ② 17時 30分以降のエアコン使用を控える。 ③ クールビズ・ウォームビズの実施 ④ 未使用時の電気消灯(昼休みの消灯) ⑤ パソコン等 電力不要時の負荷遮断 ⑥ 局所照明等による有効照明の利用。	○ ○ ◎ ◎ ◎ ◎	左記活動計画を実践してるが、電気使用量を鑑みると、もう少し省エネルギーに対する意識向上を図る必要がある。(特に、長野支店)よって、目標値を意識した活動を再徹底する。
2	省エネルギー推進による 二酸化炭素排出量削減 (ガソリン・軽油の削減)	① アイドリングストップの徹底 ② 車内に不要な荷物を乗せない。 ③ エコドライブの実践(急発進・急ブレーキの抑制・法定速度遵守等) ④ 冷暖房を控えめに使用する。 ⑤ 走行メーター・給油使用量の毎月報告による意識向上	◎ ○ ○ ◎ ◎	本社・長野支店ともに、前年に比べガソリン使用量を削減できた。今後も、左記活動計画とおりに遂行していく。
3	分別・リサイクル推進による 廃棄物排出量(kg)削減	① 分別回収ボックスの適正配置 ② リデュース・リユース・リサイクル化の実施 ③ 資源ゴミとの分別強化により再資源化をはかる。	◎ ○ ◎	分別・リサイクルへの意識がより高まった結果、目標値以上に成果を出すことができた。今後も、同様に実践していく。
4	水資源使用量の削減 (水道量の削減)	① トイレ使用時の節水 ② 蛇口締め忘れのないよう徹底する。	◎ ◎	長野支店の目標値オーバーについては、通常の使用感と乖離した計測値なので原因を調査中です。
5	コピー用紙使用量(枚数)の削減	① コピー機使用を極力減らす工夫をする。 ② 場合により集約や両面コピー等の活用 ③ ミスコピーの削減(スイッチをON前の確認) ④ 電子メディア利用により、ペーパーレス化をはかる。	○ ◎ ○ ◎	複合機をはじめとした各機器の仕様について全社員の理解も深まっているので、コピー用紙使用削減に繋がった。引き続き、節約の意識を失わずに実践していく。
6	グリーン購入の促進	① 社内にて使用する商品は、グリーン購入品を購入する。	◎	会社方針としてグリーン購入品を購入・使用定められているため、全社員徹底できている。
7	リサイクル・エコ商品の販売	① LED・蓄電池・ハイベリットファン・遮光熱フィルム・リサイクルPPC等の積極的販売 ② 社内システム上も、ECOデータ管理を高度化する。 ③ エコ商品の新アイテムを増やす。	○ ○ ○	大型案件などの増加により伸びている部分もあるが、毎月の目標に対してコンスタントな販売ができるような計画をし、実践していく。
8	従業員への環境保全啓蒙	① ecoセミナー実施 ② 毎月の実績発表時、C・Aを部署ごとに考える意識付けを。 ③ 各所にポスター、シール等を貼り意識付けをする。	◎ ◎ ◎	全体でのセミナーを年4回実施。全員に職務分担を持たせ、意識向上を図っている。

●環境関連法規等の遵守状況の確認・評価及び違反訴訟の有無

(毎年定期的な遵守評価の前に制定、改正の確認を行う。普段から規制の動きには注意を払う。)

登録簿更新日 : 2017年11月15日

遵守評価日 : 2018年10月20日

遵守評価の時期: 代表者による見直しの前

- ◎ 環境関連法規制の遵守状況確認を実施した結果、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。  
関係機関、地域からの苦情や訴訟等も過去5年間ありませんでした。

当社に関する主な法規制は下表の通りです。

	承認	作成
登録		
遵守評価		

法規制等の名称	該当する要求事項 (対応すべき事項)	該当する設備	点検・測定頻度、実施時期	届出・報告・資格			担当部署	遵守評価	
				許可	届出報告	資格届出先		証拠	判定
道路法	①積載物の荷崩れ防止のための固定ロープ使用						配送係		○
道路運送車輛法	①車検(2年ごと)		2年ごと		○	運輸省	総務	車検証	○
	②車検(1年ごと)		1年ごと		○	運輸省	総務	車検証	○
道路交通法	①安全運転の実施		交通安全週間ごと				使用者		○
	②安全運転管理者による教育訓練		安管講習後			安管者	安管者		○
	③積載量の遵守						使用者		○
省エネ法	①電気使用量の削減						全員		○
	②燃料の削減		月末使用量提出				運転者		○
廃棄物処理法 長野県環境基本条例	①委託基準:一般収集業者の許可の確認、委託契約の締結	一般廃棄物(紙くず、繊維くず、木くず、生ごみなど)	・1回/年				総務	許可証	○
	②マニフェスト交付:B2・D票90日、E票180日以内に送付されない場合は30日以内の知事への報告、A・B2・D・E票の保管(5年間)		・マニフェスト新規交付時		○	知事	総務	マニフェスト	○
	③産業廃棄物管理票交付等状況報告書の提出		・6月末まで		○	知事	総務	報告書	○
	④帳簿の作成(特別管理廃棄物)						配送係		○
消防法(危険物関係)	①防火管理者による消防訓練		年 3月・9月		○	消防署	防火管理者	訓練報告書	○
	②資格業者による消防設備点検及び市への年1回の報告	消防用設備	年1回 9月		○	消防署	総務	点検報告書	○
PCB特措法 (改正法:平成28年8月施行)	①自らの責任において確実かつ適正に保管	PCB入トランス、コンデンサ	年1回		○		総務	現場確認	○
	②毎年6月、保管及び処分の状況に関し県知事に届出	PCB入トランス、コンデンサ	年1回 6月		○	知事	総務	届出書	○
	③計画的処理完了期限より前の処分の義務	PCB入トランス、コンデンサ	2024年3月末までに実施				総務		○
フロン排出抑制法	①簡易点検	エアコン用室外機	年4回 四半期末				総務	現場確認	○
	②定期点検	エアコン用室外機	3年ごと				総務	現場確認	○

遵守評価の欄: 確認した記録など記入 判定欄: ○×(×の場合は問題点処置票により解決を図る)

## 代表者による全体評価と見直しの結果

今年度で中間、更新も含めて6回目のレポート提出であり歴史が出来てきた。目標に対して未達成項目は燃料使用量の削減によるCO<sub>2</sub>の削減であった。原因は営業活動拡大による車両2台の増加と活動量の増加に起因すると考えられ前向きの未達成といえる。その他未達成項目とすると長野支店の水資源使用量であるが問題の範囲ではない。しかしその水資源使用量は本社より大きいのでその原因究明に取り組みたい。

又従前より課題のエコ商品リサイクル商品の販売についても目標にはとどかないが着実に伸びてきた。特に昨年度スタートした「オフィスメンテナンス工事」事業を地域に浸透させるために、専用のホームページを立ち上げたり12Pに及ぶパンフレットを作成しPRし実績につながった。その他エコ商品販売について前年度はLED特需があったので今年度実績は減少している。一方新電力切り替えの時流の中で、地域の代理店契約を締結してLED販売や遮光製品の販売とタイアップしてエコ商品の普及を進めており評価したい。

又本社事務所もライブオフィスと称してショールーム化することも引き続き検討しており、書類のデジタル化によるペーパーレス化をはじめ環境に優しいオフィスづくりを実現していきたい。

- (1) 代表者は2018年12月1日 エコアクション21の全体見直しに必要な「環境目標の達成状況」、「環境活動計画の実施及び運用結果」、「環境関連法規等の遵守状況」、及び「外部からの苦情・要望等」の情報を収集し全体の見直し評価を行った。
- (2) 代表者はエコアクション21全体の見直し評価の結果変更等の必要性について以下のとおり判断した。

① 環境経営方針	変更の必要無し
② 環境経営目標	設定変更しなさい
③ 環境経営計画	設定変更しなさい
④ 環境経営システム	変更の必要無し

以上